

## 第2回 学校運営協議会 協議内容

令和元年 7月 2日

御手洗(○) 宮久保(欠席) 田村(○) 唐仁原(欠席) 日高(○)  
松窪(○) 吉牟田(○) 豊田(○) 山元(○) 校長(○)

飯野高等学校校長室  
進行(中村)

### 1. 会長あいさつ

農業するのにいい肥料が必要なように、教育にはいい人との出会いが必要です。えびの市の課題を知る委員一人一人が、学校目標の達成に向けて、飯野高校の課題を把握し解決に導く方法を検討していきましょう。

### 2. 校長あいさつ

地域みらい留学(東京、名古屋、大阪、福岡での高校説明会)に出席し、意識が高く、やる気のある高校生が、多数説明を聞いてくれた。

SAPと生活文化科3年のコラボで、MRTの宮崎グルメコンテスト(8月17日 MICC)に出品する作品(青春SAPライス)が完成した。近いうちにTVで紹介される。

### 3. 各委員より提出された議案について

- ・学校運営協議会は「協議」期間なので、実際に動く組織が必要になります。そこで、どのような組織を、どのように集めて、どのように持続的に活動してもらうか、協議できると良いのではないかと。

地域の未来を創造するような組織作りを目指す事が大切である。そこには、市議や青年会議所のメンバーなどに加えて、高校生も参加し、一緒になって未来のえびの市を創造する。各種「〇〇協議会」に飯野高校生も参加して、高校生の目線で提案する。  
C. S. の協力隊(CSキャスト)をどのようにして集めるか。

- ・学校行事での市内地域住民の方の参加案内の強化(中学校だけではなく、その父母、家族の人達が飯野高校の良さを理解してもらい、入学者の増加目的)

高校進学と同時に市外に出る中学生も多い。市内の中学生に学校を知ってもらう方法を検討しなければならない。現状は、市内の中学生にとって「いくつかある高校の一つ」でしかない。

自治会や小・中学校へのPRの方法

実際にかかわってみて、体験することで知ることは重要である。

「ビジュアル化」を推薦する。

市内の小中学生に好きになってもらう事が必要。

全校生徒におけるえびの市出身生徒の割合が高くなる方策を検討する必要がある。

海棠祭に招待を企画してはどうか。

市役所の職員や地元企業の役員、市議の方を招待して、本校の取組を説明し、理解してもらう。

小中学校で行われている「えびの学」において、そのカリキュラムの中に地域活性化に向けえびの市が取り組んでいることを学ぶのに合わせて、本校の取組を紹介するなどできないものか。

地域貢献・探究・支援活動の内容を知ってもらう。生徒が出向いてその内容について説明する機会をつくる。活動の魅力を紹介する

仮に他の高校へ進学したり、将来えびの市を離れる事になっても、生きる力を身に付けるための学ぶ視点を知ることが大切。

- ・導入にあたり、委員の研修、まずはCSの仕組み・取組等の勉強が必要と思います。その後、職員と生徒、地元地域の方へ(CSの取組等を知ってもらう)

通信制や夜間の高校に通う生徒の発表会に参加する方向で検討中  
本会議を通して学校も学ばせてもらうことができる。委員も職員もお互い勉強していきたい。

- ・全国募集についての現状を把握し、協議会としてできることはないのか検討したい。

校長あいさつにあるように、地域みらい留学での説明を通して、確実に全国に発信できている。オープンスクールに参加希望の中学生とその保護者の宿泊費の一部を市が補助していただくなどできないか。

- ・市立図書館との連携～地域の人達の貸し出し利用

地域にある教育施設を如何に活用できるか。  
市立図書館に勤める司書の方からも、協力したい、アドバイスができる、との発言もある本校の図書室が、市立図書館のサテライト会場となるような活動はできないものか。

- ・CSの中での講座～お菓子作り、アロマフラワー、クラフト作り、ペン習字、冠婚葬祭などの書き方、季節に応じた実用書道 等

- ・飯野高校魅力化プロジェクトと連携しての取組検討

今後、活動を続けていけば、自然と連携することになる。

#### 4. 学校からの提案について

- ・予算請求書（別紙）の内容説明

防災に関する研修・・・校内研修2h（えびの地震の語り部の方による話）  
（専門家によるえびの地震や新燃岳噴火との関連）  
校外研修1日（1年生の熊本地震跡地見学・自身を体験した高校生との協議）  
将来的に、高校生の防災士誕生まで結びつけられないか。  
避難訓練の一環として、体育館等に段ボールで仕切った部屋を作り、そこで1日過ごす中で必要なものや気を付けなければならないこと等を身をもって知る。

生活文化科作成のだっこひも・・・30個作成し、アンケートをとり改善を加える  
今後検討

学校施設開放講座

運営協議会員の視察

#### 5. 終わりに

次回の開催について、委員の方より「もっと会の回数を増やしてはどうか。年間5回では足りない。」との提案あり。

出会できる人だけで構わないので、少しずつでも動いていく必要がある。

次回は10月に予定していたが、8月中旬に開くことになった。

#### 連絡先

宮崎県立飯野高等学校  
電話(0984)33-0300  
FAX(0984)33-5204  
CS担当 中村 聖浩  
CSサポートスタッフ 宮田 慶子